

合同会社 やさしい / 合同会社 ぬくもりの光
代表社員

野田 直裕

愛知県一宮市出身。以前は、団地を管理する会社に勤務し、業務に従事していた。空き家対策と福祉の充実を目標に定め、2018年に(同)やさしいを創業。精神障がい・知的障がいがある人たちのためのグループホームを運営している。2021年には(同)ぬくもりの光も立ち上げ、就労継続支援B型事業所「シャルール」をスタートさせた。



スタッフが働きやすいグループホームで精神障がいのある人々に寄り添い就労支援

不動産業界から福祉の世界に飛び込み、精神障がい者のグループホームや就労継続支援B型事業所を運営している(同)やさしい、(同)ぬくもりの光の野田代表。斬新な発想と抜群の行動力で福祉業界に変革をもたらしている同氏に、俳優の宍戸開さんが話を聞いた。

Guest Comment>>



宍戸 開 (俳優)

不動産のプロとして身に付けた知識や手腕と、福祉への熱い思いを融合させて事業に挑む野田代表は、とても心の奥行きが深い方でした。代表が考える働きやすい職場づくりと、障がい者の皆さんへの接し方は本当に素晴らしいもの。ぜひ、同じ志を持った方を全国に増やし、福祉の輪を広げてください。私も代表のさらなるご活躍を応援しています！

空き家問題の解決と福祉を結び付けた

宍戸 精神障がい者のためのグループホームと、就労継続支援B型事業所を運営されている野田代表。まずは、代表が福祉の世界に足を踏み入れるまでの道のりから教えていただけますか？

野田 父が服地のデザイン会社を経営していたことから、私もアパレルメーカーに就職し、その3年後には父の会社に転職しました。しかし洋服の生産が海外に移り営業が難しくなったこともあり、私は服の次に好きだった不動産の仕事を探し、UR都市機構の団地を管理する会社に就職したんです。そうしてさまざまな団地を見て回るうちに、住民の高齢化で

多数の空き家が発生していることに気付きました。この問題を解決できないかと考えたのが、グループホーム開設のきっかけの1つだったんですよ。

宍戸 意外な視点から福祉との結びつきをお考えになったわけですね。

野田 ええ。もう1つの契機は身内に知的障がいのある全盲の子どもが生まれたことでした。ただ支援してくれる施設は少なく、私も自分の生活で精いっぱいだったため、あまり力になることができなかったんです。その頃、相次いで両親を亡くした私は、今後の社会は皆で助け合うことが必要だと決意しました。2018年、49歳の時に(同)やさしいを創業し、精神障がい者・知的障がい者のためのグ

ループホームを設立した次第です。

共依存に陥らないさっぱりしたサービス

宍戸 それでは、野田代表ならではのユニークなお取り組みについて詳しくお聞かせください。

野田 当社は現在、5つのグループホームを運営していますが、どれも空き家になってしまった物件をお借りしているんです。私は前職のキャリアを生かして不動産投資の講師もしていましたが、当社のグループホームはその生徒さんたちが購入した空き家を借りています。この方法の利点は、家の所有者から「不動産を障がい者に貸したくない」と断られずに済むことです。また、生徒さんたちには相場の数倍にあたる家賃をしっかりと払っています。

宍戸 これは驚きました。どうしてそのようなことが可能なのでしょう。

野田 私は不動産管理の仕事が続けてきたので、今も総務・経理・人事などの業務は、クラウドサービスを使いこなすすべて自分で手がけています。当社に事務職のスタッフはおらず、大幅なコストダウンを実現できるんですよ。また、おかげさまでグループホームの入居率が高いので収益に関する不安もありません。

宍戸 (同)やさしいさんのグループホームが、それほど高い評価を得る理由はどこ

ういった点にあるのですか？

野田 私たちの目標は障がい者の方々に自立していただくことです。過保護になるとその目標を達成できなくなるので、食器洗いや清掃は可能な限り入居者さんに行っていただいています。それを支援するスタッフは介護福祉士、看護師、大学生、70代のベテラン福祉士など福祉に情熱を燃やす方ばかりで、精神科病院などとも連携し、充実のサポートをご提供しています。ただ、スタッフが特定の入居者さんのお世話に力を入れ過ぎると、心理的に依存し合う「共依存」になる心配があるんです。

宍戸 確かにそれは避けなければなりませんよね。野田代表の工夫は？

野田 例えば、コンビニの店員さんのようにさっぱりしたサービスを行うように心がけています。福祉施設では長時間勤務というケースもよくありますが、当社は夕勤と夜勤でシフトを組んで長時間労働をなくしたことで、入居者さんと一定の距離を保った支援が可能になりました。また、この業界の問題点の1つは福利厚生が薄いことですが、当社は確定拠出年金で退職金を確保するなど、スタッフに手厚い待遇を約束しているんです。そのため、当社はこれまで雇用に困ったことがありません。

宍戸 入居者さんとスタッフさん、どちらの幸せも実現しようと奮闘する野田代

表の取り組みはお見事です。でも、さまざまな困難もあったのでしょうか。

野田 私はグループホームの最初の入居者として、どこの施設でも断られていた重い脳障がいのある方を迎え入れました。難しい挑戦だとわかっていましたが、優秀なスタッフや病院との連携で、障がい者支援の知識や技術を一気に吸収していったんです。

宍戸 数えきれない努力を重ね、福祉業界に革命をもたらす野田代表が目指す将来像を教えてください。

野田 2021年10月に、就労継続支援B型事業所を始めました。現在はアクセサリ制作や当社のグループホームの管理が中心ですが、いずれは飲食業などの仕事もしていただくと考えています。私が目指すのは職住一体の「福祉ビレッジ」を立ち上げることです。自分の力で施設を増やすのはこれで終わりにして、今後はこれまでに積み上げたノウハウを、当社の理念を共有できる方にご提供しようと考えています。

宍戸 福祉の仕事をしてみたいものの、不安が大きいという方も多はず。ぜひ最後に、野田代表から励ましのメッセージをお願いします！

野田 私も福祉の世界に未経験で飛び込みました。ですから、やる気さえあれば大丈夫です。日本の福祉をレベルアップさせるためにも一緒に頑張りましょう！

Company Data>>

合同会社 やさしい

〒475-0833
愛知県半田市花園町6-27-6
メゾンドK2D
URL <https://nukumorigroup.jp/>

合同会社 ぬくもりの光

〒475-0002
愛知県名古屋市中村区名駅3-20-20
名駅錦ビル6F

